

9月1日（月）

ネームドロッパー

聖書朗読 1サムエル 1:1～28

これ以上、何を言いましょうか。もし、ギデオン、バラク、サムソン、エフタ、またダビデ、サムエル、預言者たちについても話すならば、時間が足りないでしょう。

ヘブル 11:32

ヘブル人への手紙の著者は、アベルからラハブまでの人々の信仰について雄弁に語った後、語りたいと思う信仰の人について、全て語ることはできないことがわかっていました。ですから、ヘブル人への手紙11:32は、『多くの証人』という言葉で始まり、ギデオン、バラク、サムソン、エフタ、またダビデ、サムエルについて語るには時間が足りないという言葉で閉められています。この著者の場合、著者は聴衆のことを良くわかっていて、これ以上名前を出す必要がないことがわかっていたのだと思います。聴衆はすでに知っており、著者が語るべきは「ギデオン」だけでよかったのです。聴衆はそれで全てがわかるのです。

今日の聖句では、信仰の人々の中の一人、信仰深い母のバックグラウンドについて語られています。サムエルの話のきっかけに何重にも重ねられた信仰の話を思い出しました。サムエルは士師記から列王記までイスラエル人を導いた偉大なリーダーでした。今日の聖句の中で、サムエルの信仰は不信仰の海に浮かぶ島ではないことを気づかせてくれます。実に、サムエルの神への信仰は、主の前に「心を注ぎだした」信仰深い母の願いが聞き入れられた人々の実でした。

※ ネームドロッパー・・・有名人を自分の知人であるかのように自慢する人のこと
(訳者注)

讃美歌 510

祈り 御国の我が父。あなたの御名があがめられますように。私たちの前を歩いて行った、そして今私と共に歩いている、そして私たちに続く信仰の人に感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

クリス・フリッゼル
テキサス州 グランバリー

今日の力

2014年9月1日～9月7日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月2日(火)

名 声 を 得 る の は 誰 ？

聖書朗読 I サムエル 17:38～51

その恵みは私たちに大きく、主のまことはとこしえに。

詩篇 117:2

ダビデはゴリアテに出くわしたとき、単に逃げ帰ることはできないと思った若者だったのかもしれませんが。若者はそう思いがちなのです。「恐れを知らない」はブランドの名前にさえもなっています。彼らは言います。「誰もが恐れるこの巨人を私の前に連れて来い。誰がボスカ教えてやる」。これがダビデの気持ちだったのかもしれませんが。ダビデは体を守るためにつけていた鎧すらとりました。ダビデは怖いもの知らずの若者だったのかもしれませんが。

しかし、ダビデはこの時、この場所で、この戦いで神に選ばれました。ダビデは野心的な若者というだけではありませんでした。ダビデの自信は全てを手中に収めておられる全能の主である主からきていました。ダビデはそのことを知っていて、戦いの前に戦いは主のものであると宣言しました。ダビデは人々を導き、大きな逆境に立ち向かうため神によって備えられていました。あなたは、私はどうですか？ 神は私たちをどのような戦いに呼ばれているのでしょうか？ 神の栄光を表すための戦いに、でしょうか？ それとも自分の栄光を表すための戦いに、でしょうか？ 私たちは皆神に呼ばれています。何を選ぶかは、誰の名声のために戦うのかによります。ダビデは叫びました。「この戦いは主の戦いだ」。そして、私たちの戦いでもあるのです。

讃美歌 453

祈 り アブラハム、ヤコブの神、私たちが何に直面しようとも、あなたさまを賛美しながらあなたさまの前に立ちます。御力と御知恵を私にお与えください。あなた様を賛美いたします。
イエス様の御名によって。アーメン。

シェリー・リームス
テキサス州 ラボック

9月3日(水)

人 間 関 係

聖書朗読 I サムエル 25:18～35

しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とともに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。

ヤコブ 3:17

生きていく中で最大の問題の一つは、いかにうまく他人と、夫、妻、家族、ご近所さん、もちろんキリストにある兄弟姉妹と関係を保っていくかです。人とうまくやっていく一番の決め手は、その人と太い絆を築くことです。しかしその絆も高価な磁器の花瓶のように、一度壊れるとその関係は修復不可能な状態になってしまいます。ですから、その絆を切ってしまうぬよう調和を保つ努力しなければなりません。

友好と協調で団結した人々のチームワークを通して絆を築くことが多いと思います。厄介な組織的な対立は、敵対している二人が友達になることで解消することもあります。手を取り合い、心を一つにして神のために働いたとき、神の栄光のために多くのものが実に簡単に成し遂げられるのです。

団結すれば、私たちは神に栄光を与えることができます。

ねたみ、あざけり、プライドから開放されたとき、
兄弟の欠点は隠れ、
兄弟の愛が表れる。

————— ジョセフ・スウェイン

讃美歌 90

祈 り 聖なるお父様。神の御名によって私たちが一つになり、あなた様の御名をあがめる目的の中で一つとなれますようお助けください。
イエス様の御名によって。アーメン。

ボブ・セントラツィオ
テネシー州 モリソン

9月4日(木)

特別なめぐみ

聖書朗読 I 列王記 3:1～15

私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。
ヨハネ 1:16

ソロモンは特別でした。彼は偉大な王ダビデの息子で、神に選ばれた人々の王として彼の父の後を継ぐことを運命づけられていました。そしてソロモンはほぼ間違いなく全人類の中で最も賢く、最も裕福な男でした。世間から見たら、ソロモンは全てを持っている男でした。

しかし、ソロモンは平凡な人でもありました。昨今の人と変わらず、ソロモンの心は嘘で満たされ、ひどく病んでもいました。今日の聖書箇所の中で、ソロモンは異教徒の妻を持ち、高きところで異教の神にいけにえをささげていました。これらのことは神によってはっきりと禁じられていました。神からみたら、ソロモンはひどく貧しい男でした。

「特別」、この言葉の意味は、神のことを全く考慮にいれていません。この言葉は見えるものにのみに焦点があてられています。しかし、神の意味での「特別」は、見えないものに基いています。ソロモンを特別にしていたのは、彼の豊富な財力や知恵ではありません。それは紛れもない最高のめぐみであり神の好意です。神のめぐみに勝る偉大で素晴らしいものはありません。ですからソロモンと共に私達も救われるのです。

讃美歌 第二編 87

祈り 歴史——過去・現在・未来——の主。あなた様の前にひざまずいて、私をあなた様のもとに呼び寄せてくださる救いの力とご好意に心から感謝いたします。あなた様の栄光を見る目を私にお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

チャック・ブライアント
テキサス州 ラボック

9月5日(金)

エリヤの神は試された

聖書朗読 I 列王記 18:17～46

こうしてわたしをためしてみよ。——万軍の主は仰せられる——わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかためしてみよ。
マラキ 3:10

神は、セールスマンでも、自分を売り込む政治家でもありません。神の御力や愛の証を証明する非の打ち所のない筋の立った議論や完璧な化学実験を用意していたわけではありません。しかし、ご自身についての証言がないままにしておかれたわけでもありません。パウロはルカオニヤの人々に言いました。『すなわち、恵みをもって、天から雨を降らせ、実りの季節を与え、食物と喜びとで、あなたがたの心を満たしてくださったのです。』(使徒 14:17)。

神はエリヤのためにさらに多くのことをされました。エリヤが選ばれた人であるしるしとして、エリヤのために神は石をも焦がす火を御国から降らせました。

私達への神様のしるしはこれほどドラマチックではないとは思いますが、神様は今でもご自身をためしてみるよう、ご自身の御言葉が嘘かどうかみてみるように私達に勧めています。神様の御言葉を読み、その中に自分の姿を見るとき、きよめのための備えをし、困難に立ち向かうとき、約束を信じて待っているとき、希望を胸に休むとき、御国の扉は再び開き、雨もなく、炎もなく、愛、喜び平和の祝福が私達に降り注ぎます。

讃美歌 284

祈り お父様。ここにいてくださり、お姿を現して下さっていることに感謝いたします。あなた様にもっと信頼を寄せることができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ビリー・シルビー
カリフォルニア州 カルバーシティ

9月6日(土)

十 分 で す

聖書朗読 II列王記 4:1〜7

主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしはあなたがたのために、パンが天から降るようにする。民は外に出て、毎日、一日分を集めなければならない。これは彼らがわたしのおしえにしたがって歩むかどうかを、試みるためである。」

出エジプト 16:4

今でも私は、家売るための契約が反故になったことを知らせるためにかかってきた電話が忘れられません。私は、それはそれは落ち込みました。というのも、その時私はすでに新しい家を買っており、近く引っ越し予定でした。しかもその家の近くでの新しい仕事が決まっていたからです。もう後戻りはできなかったのです。

その後9か月以上もの間、私は古い家が売れるのを待ちながら、2つの家のローンを払い続けました。私はいつまでお金が持つか心配しながら待ち続けました。その時、私はイエス様が5000人もの人に食べ物を与えたことを思い出しました。弟子たちはその食べ物をどこから来たのか知りませんでした。でも、食べ物は来て、そして十分でした。イエス様とともにいれば、いつも十分です。

同じく列王記第二4章のエリシャが一人の未亡人に生き方を教えたことを思い出します。未亡人の負債を払うために十分な油が未亡人の前に現れました。これは聖書における一貫したメッセージです。いつもたくさんは現れないかもしれませんが、神とともにいれば、いつも十分なのです。

ついに私の古い家は売れました。神は私と家族を気にかけてくださっていました。今、神様は、私たちが直面している困難を乗り越えるに十分なものをお与えくださっています。いつも、神様は私たちに十分お与えくださっておられます。

讃美歌 448

祈 り 父なる神。いつもあなたの民に十分にお与えくださり感謝いたします。あなた様がお創りになられた日々を、必要な物は十分に与えられていることを忘れずに過ごせますようお助けください。
イエス様の御名によって。アーメン。

ケント・ベンファー

テキサス州 フォースワース

9月7日(日)

あなたにはどのように見えていますか？

聖書朗読 II列王記 6:8〜23

心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るから。

マタイ 5:8

以前、友人のO.J. ダイソンは、コミュニケーションにおいて問題を大きくするのは「思い込み」であると言いました。同じものを見ていても、人によっては違うように見えるということです。

40年以上も前に、私はテネシーからロサンジェルスまで一人旅をしました。ニューメキシコシティで、私は上半身裸の若者のグループが乗った車を追い越しました。追い越した後、その若者グループの車が明らかに私の車を追いこそうとしてきたのがわかりました。その時私は、彼らが私を殴り、私の物を奪い、そして私を殺しさえするかもしれないと思いました。彼らが窓を開けているのを見た私は「もうおしまいだ!」と思いました。若者はものすごい大声で叫びました。「ナンバープレートが落ちそう!」。私の胸はドキドキしていましたが、すっかり安心し、彼らにありがとうと手を振りました。私はスピードを落とし、気のいい若者のグループが私を傷つけようと思った私はなんて馬鹿なんだろうと思いました。でもこの時の私には他には思い当たらなかったのです。

家来が馬と馬車だけを見たとき、エリシャは『恐れるな。私たちとともにいるものは、彼らとともにいる者よりも多いのだから』と思い出し、『どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください』と祈りました(II列王記6:16〜17)。そしてエリシャが目をあけると、火の戦車がエリシャを取り巻いているのが見えました。あなたが信仰を持って見るとき、ありのままの事実を見ることができます。

讃美歌 II167

祈 り お父様。あなた様の祝福の全てを見ることができるよう目を開かせてください。そうすれば私たちは真実を見ることができます。

イエス様の御名によって。アーメン。

カルビン・ボワース

カリフォルニア州 ロサンジェルス